

Vol.043

福島市議会真政会報
— 平成27年10月 —

真政会報

真政会要綱

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」として「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



会長挨拶

10年目を迎え、会派13名一丸となり邁進



半沢 正典

7月12日に第18回福島市議会議員一般選挙が執行され、改選を経て我々真政会は、新人議員1名を加え13名にて新たにスタート致しました。この度、会長に就任しました半沢正典です。選挙にて我々議員に投じて頂いた清き一票の重みを胸に刻み有権者の負託に応えるべく日々市勢進展の為、邁

進して参る所存であります。しかしながら、今回も投票率が47・33%と有権者の過半数にも届かず投票率低下に歯止めが掛りませんでした。候補者でありました私共の主張が有権者の心に響かなかったことを真摯に反省し、議会基本条例の理念にて謳っております通り、二元代表制の一翼を担う自覚と責任の下、市民に開かれた議会を目指し、皆様の思いを市政に反映してまいります。真政会は会派創設以来10年目を迎えました。今後も最大会派として、その役割と責務を会派一丸となり果たしてまいります。

平成27年9月議会定例会議の報告

9月定例会議は9月1日に開会し、市長から一般会計補正予算等の議案17件及び報告6件の案件が提出されました。提案理由の説明に先立ち、除染の進捗状況、新たな行政改革大綱の策定の取り組み、本年度策定する「福島市版総合戦略」と「福島市総合計画後期基本計画」さらに、新たな工業団地の整備に向けた取り組みや中核市移行等の、市政の近況について報告がありました。一般会計補正予算は、新工業団地調査費、子供の元気アップ推進事業費（十六沼公園屋根付き運動場整備）等を含

む19億3518万7千円、特別会計補正予算1億9764万3千円の審査、福島市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例制定の件と、請願陳情・意見書の審査等を行い25日に閉会しました。改選後の議会にあたり、代表質問では、当会派から半沢正典会長が、また一般質問では小松良行議員、大平洋人議員、白川敏明議員、二階堂武文議員の4名が質問に立ち、原発事故対応等市政各般にわたり、最大会派として市民目線と責任ある言動で議論を交わしました。

平成26年度決算特別委員会の報告

平成26年度の一般会計の決算額は、歳入では1,980億4千2百万円余で前年度に比べ398億2百万円余（25・2%）増加し、歳出では、1,889億5千6百万円余で前年度に比べ366億6千万円余（24・1%）増加しました。歳入歳出差引額は90億8千5百万円余と前年度に比べ31億4千万円余（52・9%）増加し、今年度へ繰り越すべき財源を除く実質収支額も48億8千9百万円余となり前年比は

2億3千3百万円の増となりました。決算の審査は、9月11日の本会議において決算特別委員会に付託となり、議案第百十二号平成26年度福島市各会計歳入歳出決算認定の件、議案第百十三号26年度福島市水道事業会計決算認定及び剰余金処分の件は、全体会・分科会において4日間にわたり慎重審議がなされた結果、両議案とも認定あるいは可決しました。

TEL 535-1111
FAX 533-7614

URL ▶ <http://www.sinseikai.net/>
E-mail ▶ host@fk-shinseikai.org

発行責任者 ▶ 半沢 正典
編集責任 ▶ 政務調査会

各常任委員会・分科会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。福島市議会基本条例に基づきさらに頑張ってもらいます。
なお、【 】内は当会派のそれぞれの所属議員名です。

総務 (定数9人)

【真田・尾形・大平・菅田】



【総務部】マイナンバー導入に向け、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い市条例の一部の改正を行います。【政策推進部】住宅除染につきましては、9月1日現在、計画件数9万5千件のうち、約6万9千件の除染が完了しました。また、更なる仮置場の拡充等につきましても継続して取り組んでおります。

【消防】水槽付きポンプ自動車及び高規格救急自動車をそれぞれ取得し消防救急体制の強化を図ります。【財務部】市の財政状況を判断するため、4つの健全化判断比率を求め、4つとも満たされており、その比率によって「早期健全化基準」(黄信号)と「財政再生基準」(赤信号)が定められています。平成26年度の福島市の比率はいずれも基準以下で良好となっております。

主な補正予算

- 「蓬萊地区仮置場設置工事」道路増設等……………383,000
- 支所等施設改修事業費……………61,900 (千円)

文教福祉 (定数8人)

【渡辺・黒澤・白川】



【教育委員会】福島県の「生活拠点における交流促進事業補助金」を活用し、移動図書館車「しのぶ号」を更新し、避難者と周辺住民との交流促進を図るため、仮設住宅への巡回を加え、本を通じた住民同士の交流の場の形成を図るため、平成28年4月よりスタートします。決算認定の件については、学力向上、読書習慣

への取り組み、エアコン設置事業、復興事業等、賛成多数で認定。【健康福祉部】介護保険事業費特別会計創出金、介護認定審査会の追加(14回)開催に係る委員報酬の増額補正等。決算認定の件については、5課2室の歳入・歳出に関して、放射能震災に係る、子育てこころのケア事業、健康管理事業、健康講座開催事業、復興事業費での実施等を、全会一致で認定しました。

主な補正予算

- 生活拠点交流促進事業費(移動図書館車購入等) ……24,000
- 放課後児童支援員等処遇改善等事業費……………181,184 (千円)

経済民生 (定数9人)

【半沢・萩原・川又】



【農政部】増加するイノシシ被害対策のため、電気柵整備に対する追加の助成が決定しました。又、米の全袋検査を実施する協議会に対し、迅速な検査体制強化のための予算が承認されました。【商工観光部】大笹生IC周辺の新工業団地整備進捗のための調査費が承認され、測量が始まります。国内外からの誘客と利便をはかるため無料の無線LANの環境整備を「道の駅つちゆ」で行います。【市民部】マイナンバー制度導入に伴い、カード発行等手数料の条例改正が行われました。又、国民健康保険事業の決算が提出されました。医療費(療養給付費)は依然増加が続いていることが報告されました。【環境部】あぶくまクリーンセンターの老朽化等に対する修繕とヘルシーランド福島のプール修繕などを行います。

【建設部】福島市営住宅等条例の一部を改正する条例制定の件でマンションの老朽化による建て替えを円滑に進める為、入居基準を緩和するなど市の責務規定を追加して建て替えを促進します。また市営住宅の修繕整備を実施して入居者を募集します。維持修繕費を追加して老朽化した道路施設等、傷んだ舗装道路や消えた白線等を修繕して市道の安全な通行を確保し、新たに交通安全施設を設置します。大笹生IC周辺地区の地域振興施設(道の駅等)の整備に向けた基本構想をまとめます。【都市計画部】応急仮設住宅5か所に遊具を新設更新して公園整備を行い、入居者と地域住民の交流を促進するため、公園として維持して参ります。床面積五千㎡以上の民間大規模建築の耐震診断を受けて耐震設計を補助して建築物の耐震化を図ります。

主な補正予算

- 新工業団地調査費……………33,200
- 有害鳥獣被害防止対策事業費……………5,000 (千円)

建設水道 (定数8人)

【兵戸・小松・二階堂】



【建設部】福島市営住宅等条例の一部を改正する条例制定の件でマンションの老朽化による建て替えを円滑に進める為、入居基準を緩和するなど市の責務規定を追加して建て替えを促進します。また市営住宅の修繕整備を実施して入居者を募集します。維持修繕費を追加して老朽化した道路施設等、傷んだ舗装道路や消えた白線等を修繕して市道の安全な通行を確保し、新たに交通安全施設を設置します。大笹生IC周辺地区の地域振興施設(道の駅等)の整備に向けた基本構想をまとめます。【都市計画部】応急仮設住宅5か所に遊具を新設更新して公園整備を行い、入居者と地域住民の交流を促進するため、公園として維持して参ります。床面積五千㎡以上の民間大規模建築の耐震診断を受けて耐震設計を補助して建築物の耐震化を図ります。

主な補正予算

- 生活拠点交流促進事業費……………56,000
- 舗装道維持修繕費……………190,000 (千円)

9月定例会議代表質問 (抜粋)

「前期基本計画」の進捗と「後期」の計画・構想を質す

本市は、平成22年6月に「ときめきとやすらぎ希望にみちた人間尊重のまち福島



▲代表質問に立つ半沢正典会長

市」を将来都市像とする「福島市総合計画基本構想」を策定し、その構想を具現化するため基本構想計画期間の前半期である5年間に於ける施策と主要な事業を前期基本計画としてまとめ上げました。また、本計画スタート直前の平成23年3月に発生した東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所事故に対応し、新たに「復興計画（希望ある復興）」並びに「ふるさと除染実施計画」を策定し、重点推進期間を5年間として実施致

しました。これら計画に関し実績、成果などを検証し、課題を整理した上で、平成28年4月からスタートする後期基本計画の策定に取り掛かる大変重要な時期を迎えております。今回はそのような視点から、各部の分野別最上位計画の進捗状況と後期の計画・構想を中心に質問を展開致しました。また、中核市移行へのメリット・デメリットや今後のスケジュール、併せて国の主要施策である「まち・ひと・しごと創生法」を受け本市の

「地方人口ビジョン」、「地方版総合戦略」についても質しました。

【後期基本計画策定にむけて】

策定にあたっては平成26年10月に市民50名からなる会議を立上げ、後期に向けて課題・施策の見直しを行い、現在素案作りを進めています。今後、パブリックコメントを実施し原案を仕上げ、議会に諮り承認を得ていくこととあります。

【中核市移行について】

新たな保健所の設置など住民サービス向上の観点から移行に向け検討しておりますが、様々な課題も抱えており拙速な移行にならないよう、また移行にあたっては市民にきめ細かく情報を公開するように強く要望致しました。

9月定例会議 一般質問 (抜粋)

駅前ムクドリ糞害に先進例参考に対策を

福島駅前でムクドリ糞の飛散による被害は、十年ほど前からみられるようになり、深刻さを増しています。場所柄、銃器の使用は禁止されており駆除による対応が執れず、今後とも樹木の剪定や広場等の清掃を行うとのことで、抜本的な解決策が見い出せない状況です。

長野市のムクドリ撃退作戦は、破裂音やフクロウなどの鳴き声をスピーカーで鳴らし、追い払いに成果を上げています。こうした取り組みを参考に対策を講じるべきです。

高温温泉の地熱発電に関する課題について

磐梯朝日国立公園の麓、高温温泉は地熱発電の実現性が高い地区と報道されていますが、研究者の一部には温泉源泉への影響を懸念する意見もあることから、地元は開発に反対を表明しています。先般、国は地元自治体が開発に関与すれば、その手続きを一部簡素化する施策を打ち出して

おり、地元の不安な声を受け当局を質しました。その中で、市は協議等については企業が独自で行うべきと一定の距離を置くことを表明しました。

本市の職員採用試験 障がい者優先枠について

障がい者の方々、能力や適性に応じた雇用に就いて、地域で自立した生活が送れるように、民間事業者の方々にも更なる雇用を要請するとともに、本市職員の採用試験においても、障がい者優先枠を設けるべきではとの見解を求めるところ、その重要性は認識しており、優先枠のある他の自治体における採用の実態や採用後の職員配置、担当業務の状況を調査し、どのような形で実施するかを精査し、実施に向けて検討するとの前向きな答弁がありました。

「王秋」ナシの美味しさを春の花見山でもPR

今年の春、花見山で試験販売されたのが「王秋ナシ」です。まだ希少価値の高いナシで、桜の季節まで食べられる極上のフルーツです。晩秋に収穫して一部を貯蔵し、春に出荷しています。花見山で散策後、汗ばむ季節に頬張る、みずみずしく甘いナシは感動的です。全国から観光客を集める花見山で王秋ナシの評判を高め、「花も実もある」福島島の観光と、後継者不足に悩む梨生産農家の救世主になるよう願いつつ質問。市長もPRを約束してくれました。

平成27年度 9月定例会議で採択された

意見書・請願・陳情

請願

- 米価暴落対策を求める意見書提出方について

意見書

- 米価暴落対策を求める意見書
- 原発事故による営業損害賠償に終期を設けず被害が続く限り継続することを求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 国民に対し安全保障関連二法の十分な説明を求める意見書

▶吉井田支所において開催した春季議会報告会の様子



平成27年度秋季議会報告会 11月12日より市内4会場で開催

市民の皆様へ開かれた議会をめざし、昨年11月に初めて開かれた議会報告会も今回で3回目を迎えます。11月12日、13日の両日、6月・9月議会で行われた議

案等の審査の経過や意見書等の審査結果などについて、左記の4会場で報告します。どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場にお気軽にお越しください。

開催日	開会時間	会場	所在地
11月12日(木)	午後1時30分	信陵支所 2階大会議室	笹谷字オノ神1
11月12日(木)	午後6時30分	清水学習センター 研修室	御山字松川原5-1
11月13日(金)	午後6時30分	西支所 2階大会議室	上名倉字妻下4-2
11月13日(金)	午後6時30分	杉妻学習センター 2階講義室	黒岩字田部屋53-2

福島市議会 真政会 presents

市民との意見交換会2015開催

CHALLENGE FOR NEXT

市民の皆様
に
伺う！

中核市を目指す福島市！ わがまちの未来を考える。

日時 平成27年
11月4日(水) 夜7時～8時30分

場所 **A・O・Z(ア・オ・ウ・ゼ)会議室**
(福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階)

真政会は「開かれた市議会、開かれた市政」を目指し、市民の直接の声を届ける新たな方策として、「市民との意見交換会」を実施することと致しました。今回は喫緊のテーマである「福島市が中核市を目指す」との当局提案に対し、議員間の議論に留めず、市民の皆様の意見も伺い、その意見も反映いたします。市民の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

“より良い福島市を創るために、これからも真政会は挑戦してまいります！”

今回の意見交換会では、テーマ以外の市政全般の
意見要望についても伺います。

[主催・お問い合わせ] 福島市議会 真政会 TEL.535-1111 FAX.533-7614

当会派の共同提出意見書が採択!!

「安全保障関連二法案に対し 国民に十分な説明を求める！」

日本を取り巻く安全保障環境は、国際情勢の変化や技術革新の急速な進展に伴い年々厳しさを増しており、我が国の安全保障に直接的な影響を及ぼし得ることも懸念されている。

政府の最も重要な責務は、国の安全及び国民の生命と平和な暮らしを守り抜くことである。国際平和協力や外交努力との重要性もさることながら、平和憲法及び専守防衛の理念のもとに、大量破壊兵器の脅威や他国との武力による緊張、紛争を未然に防止するなど、あらゆる事態に対応できるような法的基盤の整備が必要との考えから、平成26年7月1日に内閣の基本方針「国の存続を全うし、国民を守るための切れ目ない安全保障法制の整備について」が閣議決定された。

第189回国会において、国際平和支援法と自衛隊法改正など10の法律の一つにまとめた平和安全法制整備法からなる「安全保障関連二法案」が提出され、平成27年7月16日には衆議院で可決、9月19日には参議院でも可決され、衆参合わせて200時間以上の審議を経て成立されたところである。

しかしながら、国民には法制の中身が浸透しておらず、十分な理解が進んでいないのが現状であると認識している。

よって、政府においては、国民に対し安全保障関連二法について、憲法解釈等を含め丁寧かつ十分な説明がなされるよう強く求める。

この意見書は、地方自治法第99条の規定により、福島市議会議長名で内閣総理大臣はじめ、外務大臣、防衛大臣に提出されます。

尾形 武
副会長
総務常任委員長
議会運営委員長
松川町浅川字大古内9
TEL: 548-7683

真田 広志
相談役
総務常任委員
議会運営委員
除染推進等対策
調査特別委員長
松浪町 1-15
TEL: 526-3201

宍戸 一照
顧問
副議長
建設水道常任委員
荒井字上町裏 10
TEL: 593-1035

渡辺 敏彦
顧問
文教福祉常任委員
松川町字青麻山 3
TEL: 567-2660

半沢 正典
会長
経済民生常任委員
上鳥渡字寺北 28-3
TEL: 593-5256

誉田 憲孝
総務会長代行
総務常任委員
議会運営委員
政務活動費
検討会委員
本内字西畑 4-6
TEL: 553-7030

大平 洋人
総務会長
総務常任委員
議会運営委員
除染推進等対策
調査特別委員
八島田字東本庄町 4-27
TEL: 559-2043

白川 敏明
幹事長代行
文教福祉常任委員
議会運営委員会
副委員長
飯坂町字中原 36
TEL: 542-4041

小松 良行
幹事長
建設水道常任委員
瀬上町字東町 2-6-10
TEL: 553-0647

黒沢 仁
副会長
文教福祉常任委員長
飯野町大久保字
谷津 44
TEL: 562-3582

編集後記
今年、隣家から金木犀の香りが秋を待たずにたよってきました。そんな中始まった、9月、自分にとって初めての定例会議。決算についての審議では分科会ごとに分かれていたとはいえ、その分量は多く、数字のオンパレードに正直とまどいました。けんか祭りのころにはみなさんに堂々と報告できるようなってほしいと思う夜長でした。

川又 康彦
政調会事務局長
経済民生常任委員
議会広報委員
除染推進等対策
調査特別委員
飯坂町字湯町 25
TEL: 542-4251

二階堂 武文
政調会長代行
建設水道常任委員
除染推進等対策
調査特別委員
決算特別委員会副委員長
町庭坂字内町 51-2
TEL: 591-1138

萩原 太郎
政調会長
経済民生常任
副委員長
除染推進等対策
調査特別委員
山口字下屋敷 28-2
TEL: 535-4693